

高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel. (0766) 20-1810 fax. (0766) 20-1815
E-mail gec@office.city.takaoka.toyama.jp
http://www2.city-takaoka.jp/gec/

センターだより

2008
4月1日発行



「あひて」は、自分の方で問題を解決していくイギリスの童話「アヒテ家の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が作る」とアヒテはいます。

「女性活躍推進グループは我が社の歴史を変える」



三協・立山ホールディングス株式会社
総務統括室 人事室

部長 赤沢 直人

当社の期初は4月ではなく、水無月の6月と一風変わっています。その昨年6月、社長命令により「女性活躍推進グループ」を人事室内に誕生させました。スタッフは、社内公募で選ばれた3名の女性です。彼女たちの奮闘振りを少し、それから企業にとって女性活躍の意義などを僭越ですがお話しさせていただきます。

さて、この3名・社内公募で手を上げた中から選ばれしポジティブな女性たちであります。最初の1ヶ月間は、毎日朝から大声でミーティング(ちなみに人事部はとて静か)。7月には、ビジョンと3年計画を練り上げました。ビジョン「社員一人ひとりがお互いの違いを尊重し合い、男女がともに個性と能力を發揮し、企業と共に成長することを目指します」・性別にこだわらず、ダイバーシティ(多様な人材活用戦略)を掲げています。次に3年計画・1年目「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」、2年目「ポジティブアクション(女性のキャリアアップ)の推進」、そして3年目「ダイバーシティの推進」・そう、当社ではいきなりダイバーやポジティブは難しいと判断したのです。まずは身近で入りやすいワーク・ライフ・バランスから取り組もうと。

さあ8月から活動開始です。女性活躍の阻害要因を掴むための「実態アンケート調査」。各支店の女性社員たちと膝を交えての「意見交換会(『きときとキャラバン隊』と命名)」。女性活躍先進企業との「情報交換会」。男性管理職への「意識啓発研修会」。活動を広く社内に知らせるための「専用サ

イトの開設(『ハートぶれいす』と命名)。女性相談窓口の開設。それから制度改革・「再雇用登録制度」「配偶者出産休暇制度」など社員の声を元に8つもの人事制度を改定しました。以上をおよそ半年の間にすべてやってのけたのです。彼女たちは、仕事に対して真面目でアイデアも豊かで最後までやりぬく根性もある。しかも仕事は正確で早い! そうそう、社長へ「トップメッセージ」をもらいにビデオ撮りもしています。「女性活躍は我が社の経営課題だ!」と管理職研修会でビデオ放映をし、かなり効果がありました。

以上簡単にご紹介しましたが、一言で言えば「女性が活躍しない企業は人財(宝)の持ち腐れ」ということです。女性を男性の補助に使うなど、ほんとうに勿体無い。これからの日本企業は、女性が働きたいと思うような企業が業績を伸ばしていくと思います。女性が働きやすい職場は男性にとっても働きやすい職場だということに経営者が気づき始めています。男性も女性もいきいきと働ける職場には、きっと明るい未来があると思います。「女性活躍推進グループ」は我が社の歴史を大きく変える原動力になってくれるのではないかと期待をしています。

最後に、彼女たちの活躍に対して寄せられた社員からの声を紹介して終わります。再雇用制度に申請された出産退社のAさんから「子育て中で社会とのつながりが薄く寂しい日々でした。退社したにもかかわらず再雇用の連絡をいただき本当に嬉しかったです」

共同参画



「マンガ男社会の常識・非常識」
編修発行 財務省印刷局編【現:国立印刷局】



- 監修の言葉より抜粋 -
日常ありがちな一コマを切り取って「常識」の中の差別や思い込みをマンガで表現してみました。もし、思い当たる節があるとすればあなたも無意識のうちに、男だから女だからという固定観念に縛られた色分けをしているかもしれません。だれもが生き活きと働き、家庭や地域で人間らしく暮らす男女共同参画社会は、女性だけでなく、男性にとっても明るい未来図なのです。

内閣府 男女共同参画会議議員
岩 男 壽 美 子

ワンポイント・レッスン

21世紀を活力ある社会にするためには、女性の活躍が不可欠です。ただし、男社会に女性が入るのではなく、男女共同参画することが重要なのです。

心のおしゃれ幸房

あらゆることの実現を考えた時、自分の能力だけでできることは限られています。周りの人の助けや協力があって初めて実現できるものです。そうかといって人の助けを最初から頼むのはいけません。まず、自分が動くことが何よりも大切です。その自助努力があって初めて周りの共感性が得られ、応援してくれるようになるからです。また、その体験の中から生まれる課題等は、人の意見のみ聞いて提言・要求するのは異なり、自ら汗した結果の真実であるから聞く者の心に響きます。豊かな時代、何か少しでも欠ければ耐えられず穏やかな心と暮らしが損なわれ、絶えず不満を募らせていませんか。本質的な人間の質が問われている現代に於いて、ニューモンスターや何事も自分の欲望の深さのみにとらわれているクレームのような自分になってはいないかと、新年度を迎えて時々客観視して居ります。

男女平等推進センター所長 野村 乙美

ウイング・ウイング高岡6F 施設利用案内

相談室 2室(無料)があります。

* プライバシーに配慮した個室になっており、専任のスタッフによる電話相談や面接相談(予約制)を行います。

0766-20-1811

* 【電話相談】【面接相談(予約が必要です)】

9:30~16:30 月・火・水・金・土

14:00~20:00 木

休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。(相談業務は毎週日曜日がお休みです。)



【キャリアデザインコース】

特別な技能がなくても主体的に仕事を続けることの大切さや、積み上げていくことでキャリアを創りあげる手応えを実感してもらうために、20~30代の仕事を持つ男女が3人チームで半年に渡り学習しました。



わたしの変化



このような修了証を授与しました。野村塾長やセンターが、塾生の今後のキャリアアップのための学びを支援します。



決めたいことが決まる
会議の進め方

人の意見を聴き、認める
ことが出来るようになった

会社を
思う強さが
変わった

言いたいことが伝わる
ロジカルシンキング

ポジティブに
考えようと
切り替えが
できるようになった

自分らしい
仕事観

仕事に
前向きに
なった

根っこ塾

塾長 野村 乙美

「男女が共に支え合い、共に輝く人生」を目標とし、団塊世代向けに定年後の人生を豊かにすること、若年層向けに人生観やしごと観を正しく認識し、確立することを伝授します。

【ビューティフルエイジングコース】

塾生のチャレンジ

「ビューティフルエイジングコース」の受講生4人が講座を開催！これは、「根っこ塾」で企画した自分たちの講座をセンター市民企画講座に応募し、採用されたことで実現したものです。「すてきな生き方を見つけよう」と50歳以上の男女を対象に実施されました。



「よつばの会」メンバーにインタビュー



根っこ塾で知り合った4人グループが企画したことから、「よつばの会」と命名。尾山さんを中心にチラシの作成から講座の企画、運営、報告書の作成までをメンバーでこなしました。

今回、講座を終えてのお話をメンバーに伺いました。



能町すみおになりきって寸劇に挑戦！とても楽しかったです。最終回は、ミニツツコースづくりの講師も務めさせていただきました。 朴木さん

講座開始まで、メンバーと何度も打ち合わせをしました。参加者の笑顔を見てこの企画に参加してよかったと思いました。 尾山さん



ウイング・ウイング小学校3年1組の児童と先生に扮して「メタボリック症候群」をテーマに寸劇形式で講座をすすめていきました。(第2回講座)

メンバーのパワーに引っぱられて永楽町きょうこを演じました。これからいろんなことにチャレンジしていきたいと思いました。 新井さん



講座の企画・運営は初体験！とてもいい経験になりました。回を重ねるごとにメンバーの団結力が強くなっていったように思います。 田中さん

平成20年度は7月からキャリアデザインコースを開催します！

感想



全然知らなかったことや、知っていたが意識せずにいたことの本质を学べた。どれも実践で生かせることなので身につけて、周りの人からステキと思われたり、自分でも自信が持てるようになりたい。

将来のビジョンはまだまだ不透明だが、「自分らしく」をテーマに走っていきたいと思う。

参加することで意識は確実に変わった。慣れで行っていたことを改めて見直すきっかけになった。

社会に出て仕事をしていても、知っているようで知らないことがたくさんある。難しいこともあったけど、誰も教えてくれないことを、時間をかけてアドバイスいただいたことに感謝したい。

来る毎にキャリアアップしているようで、毎回楽しみだった。返事、あいさつ、座り方など意外と意識せずに出来るようになった。

講座の企画を募集します

男女平等・共同参画について関心と理解を深めようとする講座の企画を募集します。あなたの「もっと学びたい」「みんなに伝えたい」ことを講座にしてみませんか？

- 企画者の役割 (1)講師との交渉(依頼・事務連絡等) (2)受講生の募集・募集チラシの原稿作成等 (3)会場設営・受付・進行・記録等
- 講座の概要 週1回(約2時間)1~4回程度の男女平等・共同参画についての関心と理解を深めようとする講座とする。ただし、特定の宗教や政治活動に関わるもの、営利を目的とするものは除く。
- (企画例) 「ワーク・ライフ・バランスを考える」「歴史に学ぶ男女共同参画」 など
- 講座実施期間 平成20年7月中旬以降から
- 応募資格 市内に住むか勤務する人、又は団体・グループ
- 申込期限 平成20年5月13日(火)まで

あなたの学習を支援します

男女平等・共同参画について、団体やグループが自主的に実施する講座・セミナー・調査・研究などに必要な講師料等の助成をします。

(企画例) 「男と女・響きあういのち、豊かな人生」「日本国憲法を学ぶ」「子どもが暴力から自分を守るためのワークショップ」「私の生き方・働き方(非正規雇用について)」 など

対象者 市内で活動する団体・グループ

内容 講師派遣(講師謝礼)への支援

申込期限 5月31日(土)

報告書の提出 事業を終了したときは、終了後1週間以内に、報告書を提出する

【申込・問合せ先】

F933-0023

高岡市末広町1-7
ウイング・ウイング高岡6F
☎(0766)20-1810
男女平等推進センターへ

申込用紙はホームページからもダウンロードすることができます
(<http://www2.city-takaoka.jp/gec/>)